

歯学部長 前田 健康

歯学部執行体制について

前田健康歯学部長の平成25年3月31日任期満了に伴い、平成24年12月に歯学部長選挙が行われ、前田健康教授が歯学部長に再任されました。任期は平成25年4月1日から平成27年3月31日までの2年間です。前田歯学部長の再任および齊藤力前歯学科長が定年退職されたことに伴い、4月1日付けで以下の執行部の人事異動を行いました。

歯学部長・歯学科長 ◎前田健康教授

副歯学部長 ◎小野和宏教授(再任)
副歯学部長・副学系長 ◎宮崎秀夫教授(再任)
副歯学部長 魚島勝美教授(再任)
学部長補佐 大内章嗣教授(再任)
口腔生命福祉学科学科長 葭原明弘教授(再任)
◎は評議員

また、医歯学総合病院副病院長(歯科担当)は興地隆史教授が再任(任期は3年間)されました。

教授人事について

齊藤力前教授の定年退職の後任として、平成25年4月1日付けで組織再建口腔外科学分野教授として、小林正治先生(前医歯学総合病院講師)が発令されました。また、長年空席であった生体材料

学分野教授として、平成25年6月1日付けで泉健次先生(前医歯学系准教授)が発令されました。泉教授の発令に伴い、生体材料学分野は生体組織再生工学分野に名称変更されました。

齊藤力前教授に対する名誉教授称号の授与について

齊藤力前組織再建口腔外科学分野教授に対し、新潟大学教育研究評議会は先生の長年にわたるご功績に対し、学校教育法に基づき名誉教授の称号を授与することを決定し、平成25年6月25日に名誉教授の称号授与式が執り行われました。発令は平成25年4月1日付け。



平成25年度科学研究費助成事業 採択状況について

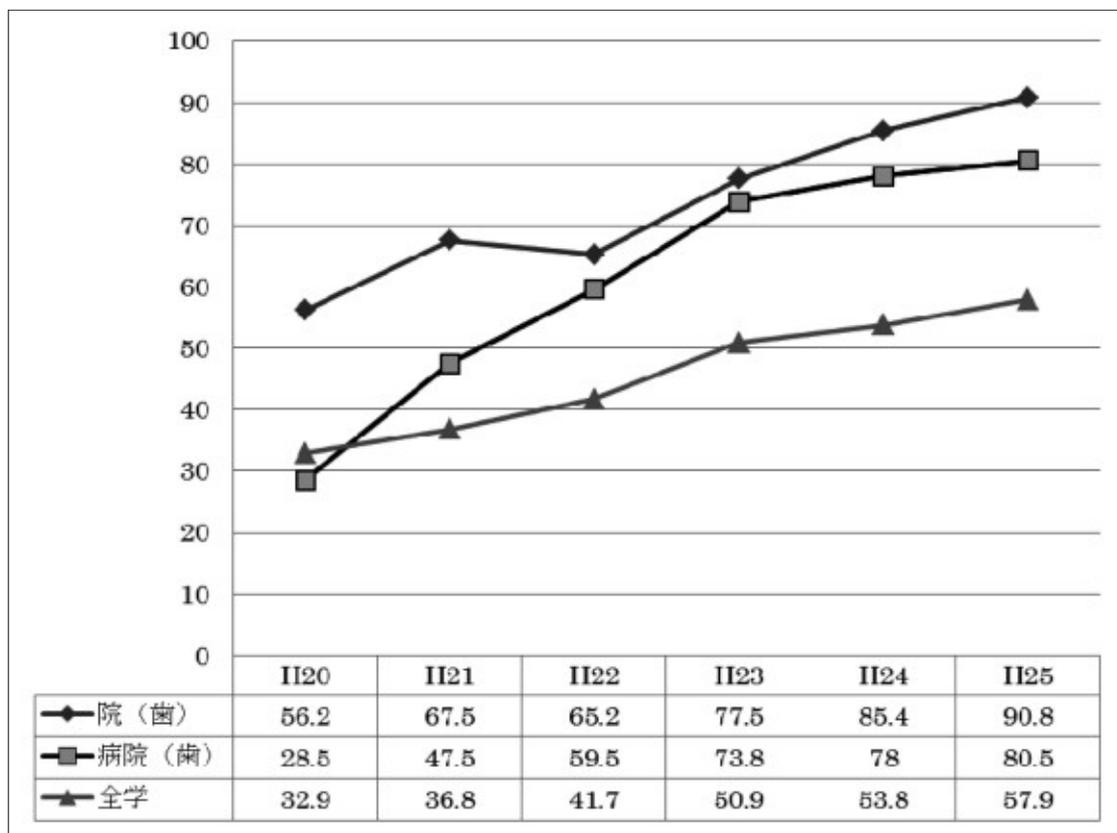
日本学術振興会（JSPS）は4月1日付で平成25年度科学研究費助成事業の交付内定をしました。本年度歯学系の採択率（速報値）を以下の表に示します（カッコ内は昨年度実績）。

	新 規		新 規 + 継 続	
	採択件数／応募件数	採択件数／教員数	採択件数／応募件数	採択件数／教員数
院（歯）	46.9（49.1）%	26.4（30.3）%	75.2（73.1）%	90.8（85.4）%
病院（歯）	63.2（54.5）%	29.3（29.3）%	82.5（76.2）%	80.5（78.0）%
全 学	29.0（33.0）%	17.2（21.3）%	57.9（55.5）%	57.9（53.8）%

特任教員、技術職員にかかるもの、スタートアップは除く

総括すると、今年度も昨年以上の採択率を示し、新規と継続分をあわせた結果では、教員採択率（応募件数／教員数）は大学院（歯）所属教員では90.8%、病院（歯科系）所属教員では80.5%と過去最高の採択率となりました。

下に過去6年間の教員採択率の年次推移を示しますが、大学院（歯）所属教員では約1.6倍、病院（歯科系）所属教員では約2.8倍の伸び率となっています。



歯学部学士課程教育への「PROG テスト」の導入

少子・高齢化の進展、患者ニーズの高度化・多様化、生命科学の急速な発展、教育内容の国際標準化、さらには臨床研修制度の必修化など、歯学教育を取りまく状況は大きく変化しています。このようななか、新潟大学歯学部では、学士課程教育を歯科医療従事者としての生涯学習の最初の段階と位置づけ、問題解決能力の育成を重視し、その後続く大学院や実社会での学習を通して専門性を主体的に向上させようとする人材を養成すべきとの認識のもと、歯科医療従事者に求められる知識・基本的臨床能力と問題解決能力をはじめとした汎用的能力をバランスよく修得させることを目指したカリキュラム開発を行ってきました。

しかし、学習成果に関しては、従来のペーパーテストにより主に知識・理解を評価するにとどまっており、汎用的能力については、客観的に直接評価することが難しいことから、学生アンケートで到達度を間接的に判断しているのが現状です。さまざまな工夫をこらした授業を行っても、評価の場面では相変わらず知識の有無を問うテストであるならば、教員の考えとは裏腹に、学生は結局のところ知識の暗記のみを重視すればよいと考えてしまうでしょう。

そこで、平成25年度新潟大学政策的事業経費の支援を受け、「PROGテスト」の試験的導入を開始しました。PROG (Progress Report on Generic Skills) テストとは、米国等で導入されているCLA (The Collegiate Learning Assessment) やMAPP

(Measure of Academic Proficiency and Progress) など標準テストの一種で、専攻・専門に関わらず、大卒者として社会で求められる汎用的な能力・態度・志向を評価するために、学校法人河合塾と株式会社リアセックが共同開発したものです。PROGテストには「リテラシーテスト」と「コンピテンシーテスト」の2つがあり、知識を活用して問題解決する力(リテラシー)と経験を積むことで身についた行動特性(コンピテンシー)の2つの観点でジェネリックスキルを測定します。問題は現実的な場面を想定して作成されており、知識の有無を問うものや自己診断的なものが多かった従来のテストと異なり、実際に知識を活用して問題を解決することができるか、実際にどのように行動するかを測定するものです。今年度の新入生ならびに教養教育を修了した学生に受験してもらい、その結果報告書を用いて学生説明会を開催しましたが、学生からは「テストの結果に納得できる」、「ジェネリックスキルの開発度が理解できた」、「自分自身の強みと弱みがわかった」、「今後の学習や部活動を行う上で参考になった」との意見が多数寄せられました。

今年度の秋には卒業前の学生にも受験してもらい、その結果の検討を通して、私たち教員も現行学士課程教育の強みと弱みを把握し、教育の質向上を図ることにより、「社会で活躍する歯科医療人を育てる」という教育機関としてのミッションを果たしていきたいと考えています。

(本項 小野和宏教授執筆)

留学生交流支援制度（短期受け入れプログラム および短期派遣プログラム）の採択について

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が募集していた留学生交流支援制度の採択結果が通知されました。この事業はこれまでショートステイ・ショートビジット（SSSV）事業として展開されてきましたが、事業の見直しにより、新たに留学生交流支援制度として発足したものです。歯学部からは2件申請し、短期受け入れ事業（短期研修・研究型）として「口腔保健／医療ニーズに対応した国際医療人育成プログラム」、短期派遣事業（短期研修・研究型）として「口腔保健医療分

野におけるグローバル人材育成」の2件が採択されました。短期受け入れ事業（短期研修・研究型）および短期派遣事業（短期研修・研究型）の全国採択率は、それぞれ39.5%、36.0%でした。

なお、今年度から本事業による奨学金受給には各種制限が設けられており、特に成績不良の学生には奨学金を支給できないこととなりましたので、短期留学希望者は成績向上に努めるようお願いいたします。

海外大学からの来学について

歯学部と部局間交流協定を締結しているタイ王国・プリンス・オブ・ソクラ大学歯学部から歯学部長等、インドネシア・ガジャマダ大学歯学部

から歯学部長等、スリランカ・ペラデニア大学から学長等が来学し、今後の研究交流、教員・学生交流について意見交換を行いました。



タイ王国・プリンス・オブ・ソクラ大学歯学部長と



インドネシア・ガジャマダ大学歯学部長と



スリランカ・ペラデニア
大学学長と

タイ王国・プリンス・オブ・ソクラ大学 歯学部との部局間交流協定の締結について

歯学部はタイ王国・プリンス・オブ・ソクラ大学歯学部と部局間交流協定を締結していましたが、交流協定期間の延長と教員・学生交流の促進を目的として、部局間交流協定書の内容を見直し、この度、前田健康歯学部長以下、宮崎、魚島、井上、早崎教授、事務職員1名が訪タイし、部局間交流協定を締結しました。交流協定の調印に先立



ち、同大学学長を表敬訪問するとともに、歯学部では井上、早崎両教授によるセミナーが開催され、教員、学生と活発な研究討論を行いました。

なお、同大学歯学部は本年10月に創立記念シンポジウムを開催する予定になっており、本学部からも出席し、招待特別講演を行う予定となっています。



大型改修工事に伴う移転作業について

本年2月から第1期改修工事(B'、C、D棟)が開始されていますが、すでにご案内の通り、第2期改修工事(A、B棟)が開始される予定となっています。これら工事に伴い、新C棟に入居予定の分野は8月中に、A、B棟から退去する分野は

主に9月中に移転作業を行います。特に、9月中は講義、実習、試験が行われますので、いろいろご迷惑をおかけしますが、ご配慮のほど、よろしくお願いします。

歯学部納涼会について

7月3日(水)にホテルオークラ新潟において恒例の歯学部納涼会が開催されました。この会は数年前までは教授会納涼会として開催されていたものですが、助講師会、助教会の先生方に出席をお願いし、昨年からは大学院学生にも拡大し、本年

は総勢97名の参加者となりました。教員、大学院生の親睦を深めるため、席順は抽選とし、短い時間ながら、職種を超えた会話が進み、有意義なひとときを過ごすことができました。